

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

「使用上の注意」改訂のお知らせ

2025 年 7 月

販 売 元 江州製薬株式会社

製造販売元 大興製薬株式会社

プロトンポンプインヒビター

日本薬局方 ランソプラゾール腸溶性口腔内崩壊錠

ランソプラゾールOD錠15mg「DK」 ランソプラゾールOD錠30mg「DK」

謹啓 時下益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、標記製品に関しまして「使用上の注意」を改訂致しましたのでご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 改訂内容[改訂箇所: _____ 部]

改 訂 後			改 訂 前		
2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 2.1 本剤の成分に対する過敏症の既往歴のある患者 2.2 リルピピリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]			2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 2.1 本剤の成分に対する過敏症の既往歴のある患者 2.2 <u>アタザナビル硫酸塩</u> 、リルピピリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]		
10. 相互作用 省略 10.1 併用禁忌(併用しないこと)			10. 相互作用 省略 10.1 併用禁忌(併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
リルピピリン塩酸塩 エジュラント [2.2 参照]	リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下する可能性がある。	<u>アタザナビル硫酸塩</u> <u>レイアタツ</u> <u>[2.2 参照]</u>	<u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u>	本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下する可能性がある。
リルピピリン塩酸塩 エジュラント [2.2 参照]			リルピピリン塩酸塩 エジュラント [2.2 参照]	リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下する可能性がある。

2. 改訂理由：

相互作用相手薬の製造販売中止（経過措置期間満了）に伴い、「2. 禁忌」および「10. 相互作用」の項を自主改訂いたしました。

3. 本情報はDSU(医薬品安全対策情報)No. 338(2025 年 8 月公表予定)に掲載されます。

4. 電子添文の情報は「医薬品医療機器総合機構ホームページ

(URL:<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)」においてもご確認いただけます。

また、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ®」をご利用の際は、以下の GS1 バーコードを読み取ることで最新の電子添文をご確認いただけます。



以上